

◆学習講座 開場12:00 開会13:00 前半13:00~14:30 後半15:00~16:30

オンライン= ●

	教室番号	席数		テーマ 講師/助言者	内容
13号館	1321	330	第1講座	日本を「戦争する国」にしたいのか 渡辺治 一橋大学名誉教授 四谷姉妹(岸松江・青龍美和子 弁護士)	● ウクライナ戦争はなぜ起きたのか？戦争はどうか？アメリカ、EC、中国などはどうかかわり、国際情勢はどうか？政府は先制攻撃、敵基地攻撃まで可能にしようとしている。なぜ米中が対立するのか。台湾問題はどうか？アメリカの戦略は？アメリカの戦争に日本が集団的自衛権によって巻き込まれたらどうか？戦争のことを知る高齢者は若者と連帯し、今こそ行動を起こそう
13号館	1331	330	前半	第2講座 私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるか 佐々木憲昭 日本共産党元衆議院議員	● 労働者の賃金は下がり続け、物価高騰は激化し、少子化は進み、環境破壊は深刻化している。国際競争力の低下しているのに大企業の内部留保は500兆円を超えた。社会保障への支出は削減され、国民の負担は増やされる一方。どう変えられるか。
		330	後半	第3講座 ジェンダー平等で未来を切りひらく 田中優子 法政大学名誉教授	● 日本政府は女性差別撤廃条約は批准したが、選択議定書は批准していない。ジェンダーギャップ指数は先進国最低レベル。女性が受けている差別の実態を知り、運動の方向を学ぶ。
5号館	533	63	前半	第4講座 地球温暖化と気候変動 江守 正多 東京大学教授	● なぜ地球温暖化が進み、気候危機が深刻化しているのか。地球環境の破壊はどこまで進むのか、食い止めるためには何が必要か。私たちは何ができるのか。
		63	後半	第5講座 防災とまちづくり 福田 信章 災害協働サポート東京 事務局長	● 災害についての基礎知識を学び、どう備えればいいのか。減災のまちづくりについて考える。
5号館	541	63	前半	第6講座 日本の医療の課題 増田 剛 全日本民主医療機関連合会会長	● コロナが日本医療の課題を浮き彫りにした。また高齢者の2割負担、マイナカードと保険証の廃止の強行、病院ベッドと公衆衛生の削減など医療をめぐる状況は厳しさを増すばかり。私たちの命綱は一体どうなるのか。
		63	後半	第7講座 日本の農業と自給率、食糧安保 長谷川 敏郎 農民運動全国連合会会長	● ①日本の食料状況とその対応を学ぶ・日本の食糧自給率(外国との比較も含めて) ②農業を守る取り組み(生産者と消費者)について交流し意見交換する
10号館	1042	60	前半	第8講座 高齢者の就労と貧困問題 藤田孝典 聖学院大学客員准教授	● 多くの高齢者は年金収入だけでは足りない生活費を補填するために働いているが、その職種の種類や労働環境は厳しいのが実態。高齢者の労災事故が増えているとの報道も聞かれている。高齢者の就労をめぐる今日の実態と課題を学び、今後の要求運動につなげていく
		60	後半	第9講座 いのちのとりで裁判と生存権 前田美津恵 全国生活と健康を守る会連合会副会長	● いのちのとりで裁判の現状と違憲訴訟にとりくんでいる当事者の報告から生存権を守るたたかひの意義を学ぶ
10号館	1041	60	前半	第10講座 マイナンバーカードで、国民支配？ 稲葉一将 名古屋大学教授	● 任意加入であるマイナンバーカードに無理やり国民皆保健の健康保険証を紐づけ、様々なミス、弊害が噴出している。何を狙い、このことがどんな問題を引き起こすかを学ぶ。
		60	後半	第11講座 インボイスは生活にどう影響するか？ 佐伯 和雅 税理士(東京南部会計事務所)	● インボイスの内容、国民生活への影響について学ぶ。
10号館	1052	60	前半	第12講座 戦争する国づくりと教育 中嶋哲彦 名古屋大学名誉教授	●
		60	後半	第13講座 原発とエネルギー問題 野口邦和 元日本大学准教授	● ウクライナ戦争の今、一層危険性は明らかになっている。この時に原発の運転期間の延長を含む、原発への依存を強める方針へ岸田内閣は舵を切った。どう考え、どう対応すべきか？

◆分科会 開場12:00 開会13:00 終了16:30

	教室番号	席数		テーマ 講師/助言者	
10号館	1051	60	第1分科会	沖縄と全国の米軍基地問題 小泉親司 日本平和委員会常任理事	● 日本の戦争と平和の問題を考えると記載台の問題は沖縄の基地問題。沖縄が再び戦場になる。基地周辺の土壌汚染も大問題。
5号館	532	52	第2分科会	日本高齢者人権宣言をどう活かすか 寺崎由郎 日本高齢期運動連絡会事務局次長	人権宣言を学び、広げる計画づくりをどう促進するか。中央団体や各県連のとりくみ状況を聞き、前進例の報告・交流し、意見交換する。
5号館	552	91	第3分科会	日本高齢者人権宣言と年金 鈴木 静 愛媛大学教授	
10号館	1021	210	第4分科会	社会保障への攻撃にどう立ち向かうか 岡崎 祐司 佛教大学教授	● 社会保障の理念の変質と制度改悪が全領域ですすめられている。新自由主義政策による公的責任の縮小、解体、社会保障の市場化、そして世代間対立を煽り社会保障の削減を競わせている。社会保障の危機的状況に対して、社会保障の正当性と権利性を学び、どのような運動を構築していくのか、展望を見出す。
5号館	531	255	第5分科会	必要な介護サービスが使えるように 服部真理子 立教大学教授	介護保険はどんどん入り口を狭められ、使えなくなっている。仕組みを変えなければならない。運動の展望をどうすれば切り開けるか。
1号館	大会議室	102	第6分科会	医療費、自己負担ゼロこそ求められる 長友 薫輝 佛教大学准教授/折田真知子日の出町町会議員 神奈川県保険医協会	● 今年は老人医療費無料化を東京で実施してから50年、有料化されてから40年。75歳以上の自己負担は昨年から2倍化された。先進国では社会保障は充実の努力が続けられているが、日本は制度の改悪、サービスの削減、そして国民負担の増加が続けられている。「老人医療はなぜ有料化されたか、いま保険料引き下げや窓口負担はなぜ無料化されるべきか？」を聞き、老人医療費無料制度を続ける東京・日の出町の現状と課題を聞く。医療費自己負担ゼロにとりくむ神奈川県社保協の活動を聞き、意見交換する。
10号館	1031	108	第7分科会	多世代でつながり豊かな地域づくり 室田信一 東京都立大学准教授	●
10号館	1032	108	第8分科会	認知症でも安心して暮らせる地域づくり 山田 智 東京・健友会(中野共立病院)医師	
5号館	553	63	第9分科会	地域の足をどう確保するか 可児紀夫 愛知大学非常勤講師	路線廃止等により移動の困難、高齢者の車事故などの状況がなぜ起きているのか。移動の権利はどう保障され、奪われているか。2013年の「交通政策基本法」の内容を含め、地域の交通の現状と今後の方向性について意見交換を行う。
10号館	1043	60	第10分科会	住まいは「人権」…住宅政策を見直す 佐藤和宏 高崎経済大学准教授	世界では「住まいは人権」と言われ、安心してくらす上の基本となります。日本では自己責任にされ、持ち家が8割近くを占め、住宅ローンに追われています。高齢になって高い家賃に苦しむケースが多く見られ、公営住宅は不足している。空き家は全住宅の15%にも。「住まい」をめぐる現状と課題を学び、意見交換します
5号館	551		第11分科会	短歌の力で、世の中を変えよう！ 津田道明 新日本歌人協会副代表	
10号館	1022	60	第12分科会	高齢期に地域で人間らしく生きる運動を 小嶋満彦 東京高齢期運動連絡会副会長	東京高連が現在とりくんでいる自治体への要請行動は「人間らしく生きる運動」を目指す重要な運動の一つ。この取り組みを広げること。
10号館	1033	60	第13分科会	歯科講座 森元主税 歯科医師	
10号館	1053	84	第14分科会	加齢性難聴と補聴器の助成はなぜ必要か	

◆夜の交流会 開会17:00 終了19:00

	教室番号	席数	講師/助言者
5号館	551		みんなで語り合おう 今風井戸端会議 森芙 紗子 / 横井 妙子 久々の井戸端会議開催！日頃の思いを大いに語り、全国あちこちのみんなの元気を分かち合おう
	552	91	みんなで聞こう 「人権を守る闘いが社会保障を前進させた」 篠崎 次男 日本高齢期運動連絡会顧問
10号館	学生食堂		うたごえ広場(参加費1000円・ゴミはもちかあえり)

◆移動分科会

	定員	分科会名	内容
1	50	東京大空襲・戦災資料センター	大正大学よりバスで案内 東京大空襲体験者からお話を聞きセンターを見学する 入館料:300円 特別参加費:1,000円
2	20	北区戦跡ウォーキング	13:10現地集合(JR王子駅前 北とぴあ前)13:30出発 16:30終了最寄り駅まで案内現地解散 北区にあった軍事施設跡をめぐり、空襲の実際を見学し、戦争しないさせない国について学び、平和を考える。
3	50	靖国神社・遊就館	大正大学よりバスで案内 「日本で最初で、最古の軍事博物館」で、今進む戦争する国づくりについて学ぶ 特別参加費:1,000円 入館料:800円(団体割引)
4	20	東京 山宣歩き	現地(山宣会事務所)集合・解散 13:00事務所集合(レクチャー) 13:30出発(ツアー時間1時間30分程度)終了後交流会、現地解散 東京の山宣の足跡をたどる 資料代500円、ブックレット代500円、交流会(コーヒー代程度)